



印出 慎也 議員



インフラ維持管理について

問 インフラの維持管理は、安心、安全な古河市を守る上で必要不可欠である。それにはお金が掛かり、財源がないと維持管理ができない。他の自治体と比べてインフラ整備に力を入れている財務系だと感じているが、市の所見を伺う。

答（市長） 市民生活に不可欠な生活インフラの老朽化対策は重要な課題である。関係各課の連

携強化、民間技術やDXなどさまざまな手法の活用により、維持管理のさらなる効率化を進める。そして、計画的な修繕を図り、適正管理に努めて、市民の安心、安全を担っていきたい。

SNSの活用について

問 ①市公式LINEとYouTubeの登録者数の推移、②市公式LINE登録者増加に向けて、市ホームページのトップ画面から登録できるアイコンを設置すべきと考えるが、所見を伺う。③市公式YouTubeを収益化すべきと考えるが、所見を伺う。

答（企画政策部長） ①どちらも登録者は年々増加傾向にある。

②スマートフォンからの閲覧が7割を超えており、今後も増加するものと考えている。多くの方に登録してもらえるよう、スマートフォン版、市ホームページにおけるトップページへのLINEリンクボタンの設置を進める。③現在、収益化条件を満たしているため、収益化も視野に入れつつ、市内外への情報発信ツールとして運用していきたい。



＜その他の質問＞

・生活保護受給について



小林 登美子 議員



第83期名人戦古河対局について

問 ①どのような経緯で応募され、選定されたのか、②今後、どのようなサイドイベントを開催する予定なのか、③名人戦開催後、この効果をどのように持続させるのか、伺う。

答（企画政策部長） ①合併20周年記念事業として、知名度向上などが見込めるため応募した。名人戦開催への情熱や本市の歴史も評価され、選定されたと認

※ブラインド方式…事前に訓練参加者に詳細な情報は知らされない、より実践的な形式

識している。②勝負めしのほかに、前夜祭やプロ棋士による子ども向け指導対局などを計画している。③対局に提供したメニューブックを店舗に設置するなど、関連施策を検討していく。

古河市の災害対応力の強化について

問 ①1月30日に実施した大地震発生図上訓練の内容について、②今後の災害対応力向上に向けた取り組みについて、伺う。



大地震発生図上訓練の様子
(三和庁舎にて)

答（市長） ②定期的な訓練等を今後も行う。自助、共助の増強のため、出前講座や地域防災勉強会など普及啓発を進めていく。

答（総務部長兼危機管理監） ①夜間に震度6強の直下型地震が発生した場合の初動活動について、ブラインド方式^(※)で実施した。

ネーミングライツについて

問 ①導入施設数と命名権の総額について、②担当所管として導入課題等について、伺う。

答（財政部長） ①対象30施設のうち20施設に導入し、総額は過去最高の748万円である。②未導入の10施設は、施設利用者が少ないなど、企業側のデメリットもあり、課題となっている。